



編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264

夏 熱中症の予防をしよう

チェック

- ・こまめな水分補給
- ・適度な塩分も必要
- ・暑さを避ける
- ・我慢をせずクーラーを
- ・睡眠、栄養、体調管理

民生委員・児童委員、社会福祉推進委員による見守り活動や、ふれあいお弁当の配食・見守り活動の際、熱中症で倒れている高齢者が発見されることが多くなっています。高齢になると、汗をかきににくくなるうえ、暑さやのどの渇きも感じにくくなります。熱中症にならないためにも、「暑い」と感じる前から予防しておくことが大切です。

「やさしさ広まれ」

ふれあいフェスティバル2015

6月7日(日)、20回目を迎え、記念の開催となった、ふれあいフェスティバルに約8,000人が来場しました。障害者地域作業所、福祉施設、市民グループ、企業など67もの団体や、大勢のボランティアの協力により、子どもからお年寄り、障害のある人もない人も一緒に、横須賀の福祉の祭典に集い、やさしさを広げることが出来ました。

また、20周年を記念し、地元のためにとご出演いただいた、ピアニスト加羽沢美濃さん、山田華さん・麗さんのコンサートには、300名の定員に対し、830名ものご応募をいただき、ありがとうございました。厳正なる抽選の結果、ご参加いただけなかった皆様には、深くお詫びを申し上げます。



9月5日開催 参加者募集!!

第6期

成年後見はじめて講座& よこすか市民後見人養成研修 事前説明会

「成年後見はじめて講座」では、司法書士を講師にお迎えして、成年後見制度のしくみやどんな場面で必要になるのかを、わかりやすく説明します。

この講座と合わせ、9月30日から開講する「よこすか市民後見人養成研修」の事前説明会も同時開催します。

- 【日程】 9月5日(土)13時30分～
 【会場】 総合福祉会館2F 市社協第2会議室
 ※公共交通機関をご利用ください(京急汐入駅徒歩6分又はJR横須賀駅徒歩約8分)
 【定員】 42名(希望者多数の場合抽選)
 【参加費】 無料
 【参加要件】 横須賀市在住・在勤・在学の方(年齢は問いません)
 ※『第6期よこすか市民後見人養成研修』は、横須賀市に住民登録がある20歳以上70歳未満の方(申込み時)
 【申込方法】 申込書に必要事項をご記入の上、FAX・Eメール・郵送・窓口提出にて(8月20日(木)必着)
 ※横須賀市社協ホームページより、チラシ・申込書ダウンロードできます。
 チラシ・申込書は、市役所市政情報コーナー、各行政センター、役所屋等にあります。
 【問い合わせ】 市社協あんしんセンター TEL(821)3605



シリーズ 成年後見

第14回 遺言について①



「遺言」ってどんなイメージがありますか?

「遺言は、死期が近づいている人が作成しておくもの」と理解されている方がいらっしゃいますが、実は、自分が元気なうちに、万が一のことがあっても残された人が困らないように備えておくもので、満15歳以上であれば作成することができます。しかし判断能力がなくなってしまうと、遺言はできません。遺言とは、**遺言者(遺言する人)の意思表示を書面にしておくもの**です。成年後見制度への関心の高まりとともに、遺言に関するお問い合わせも増えています。有効な遺言にするためには、法律で定められた方式で作成する必要があります。

遺言がないときは、民法で定めた相続分に従って遺産を分けることになります。ところがこの時、親族間の争いが起こることが少なくありません。遺言は、遺言者自らが残す財産をどのように分けるかを決め、遺産を巡る争いを防止しようとすることに主たる目的があります。

民法は「子及び配偶者が相続人であるときは、子の相続分及び配偶者の相続分は、各2分の1とする。」と抽象的に相続分の割合を定めているだけなので(民法900条参照)、預貯金・有価証券・不動産、その他遺産の分け方を具体的に決めるためには、相続人全員で遺産分割協議をして決める必要があります。しかし協議をまとめるのは容易なことではなく、まとまらない場合は、家庭裁判所に調停又は審判で解決してもらうことになりますが、必ずしも全員が満足する結果になるとは限りません。

遺言で、「妻には自宅と■■銀行の預貯金●●万円、長男には▲▲株式会社の株式◎◎株、長女には△△銀行の預貯金□□万円、〇〇基金へ◆◆銀行の預貯金◇◇万円を寄付」といったように具体的に決めておくことは、残された人たちの間で起こるかもしれない争いを未然に防ぐために必要なのです。

今回は、遺言作成の必要性が高い事例についてご説明する予定です。

各専門職後見人団体では、申立て手続きの代行・助言・情報提供等、相談を行なっています。

- | | |
|--|--|
| ◆横浜弁護士会 みまもりダイヤル TEL 045(211)7720
(月～金: 9時半～12時、13時～16時半) | ◆かなさぼ(行政書士) TEL 045(222)8628
(月～金: 13時～16時) |
| ◆リーガルサポート(司法書士) TEL 045(663)9180
(月・金: 15～17時、水: 10～12時) | ◆ばあとなあ(社会福祉士) TEL 045(314)5500
(火・木: 14時～17時) |

※お住まいの地区の「地域包括支援センター」でも成年後見制度の相談ができます。

市社協 あんしんセンター(TEL(821)3605)では成年後見制度の説明・相談等を行なっています。



“地域の力”で高齢者や障害者を支える 受講者募集!!

第6期 よこすか市民後見人養成研修

成年後見制度とは・・・

認知症などにより物事を判断する能力が十分でない方の権利を守るために、成年後見人等を選ぶことで、生活を法的に支援する制度です。

よこすか市民後見人とは・・・

成年後見人等が必要なのに、親族がいない、資力がないなどの理由で、成年後見制度を利用できない方が増えています。そうした方々のために、「よこすか市民後見人」は家庭裁判所から選任され、弁護士や司法書士といった専門職と協力し、後見活動を行います。

横須賀市と市社協では、成年後見の担い手である「よこすか市民後見人」を養成し、サポートしています。

◆ 参加要件 …… ○全日程参加できる方

○横須賀市に住民登録がある20歳以上70歳未満の方(平成27年4月1日時点)

○民法で定める「後見人の欠格事由」に該当しない方

◆ 参加定員 …… 42名(希望者多数の場合抽選)

◆ 費用 …… 無料

◆ 場 所 …… 市社協 第2会議室 横須賀市本町2-1 総合福祉会館2階(京急汐入駅から徒歩6分)

◆ 内容と日程(予定) ※変更する可能性があります。

- ・基礎編(全5回) いずれも水曜日 13時30分～17時前後
(講義内容により、終了時間が異なります)

1日目	9月30日	高齢者・認知症の理解、高齢者関係の法律と施策
2日目	10月7日	障害者の理解、障害者関係の法律と施策
3日目	10月14日	法定後見制度、任意後見制度
4日目	10月21日	民法、クーリングオフ、成年後見制度と市町村責任
5日目	10月28日	高齢者・障害者施設の現況



ご応募お待ちしております!

※基礎編修了後に簡単な筆記試験・小論文選考があります。

※応用編(全7回)、面接選考および実務研修を修了後、「よこすか市民後見人」として登録されます。



***申込締切:9月18日(金) 必着**

申込書(市役所・行政センター・役所屋などで入手可)にご記入のうえ、FAX・メール・郵送・市社協窓口提出にてお申込ください。

※横須賀市社協ホームページでチラシ・申込書がダウンロードできます。



平成26年度 ありがとうございます！ 共同募金結果報告

平成26年度共同募金では、横須賀市内にお住まいの方々をはじめ、地域の商店、企業、学校、福祉施設・団体などの皆様からたくさんのご寄付をいただきました。また、募金活動では、町内会・自治会の役員、民生委員、社会福祉推進委員、ボランティア、老人クラブの方々、小・中・高等学校の児童・生徒、企業の皆様など、大勢のご協力をいただきました。

平成26年度共同募金の結果をご報告させていただきますとともに、ご寄付いただいた皆様、募金活動にご協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

なお、横須賀市では10月から行う「赤い羽根募金」(一般募金)と12月に行う「年末たすけあい募金」を統合し、「共同募金運動」として年1回、10月から12月にかけて取り組んでおり、集まった募金を配分するときは、実績総額の60%を赤い羽根募金(一般募金)分、40%を年末たすけあい募金分として取り扱っています。また、赤い羽根募金(一般募金)の配分は、申請に基づいて配分されており、市内の福祉施設・団体から多くの申請があれば、その分市内の福祉施設・団体への配分金額が増えます。平成26年度は、市内の福祉施設・団体からの申請が多く、不足分を県内他市町村より応援いただきました。

各ご家庭から

企業や商店など
法人から保育園、幼稚園、小・中・高等学校
大学・専門学校などから公共施設やスーパーなど
に設置した募金箱

募金方法	戸別募金	街頭募金	法人募金	職域募金	校内募金	イベント募金	その他の募金	合計
件数(件)	113,881	229	852	235	61	8	48	115,314
合計(円)	68,666,156	1,684,098	2,266,189	2,670,061	581,124	130,345	442,695	76,440,668

県内他市町村より
495,332円 応援駅周辺や
商店街などでの募金活動職場単位で
募金に協力イベントで呼びかける
募金に協力

主に市内の福祉施設・団体等へ配分

赤い羽根募金分(46,359,733円)

60%

*不足分は県内他市町村より応援いただきました。495,332円

市内の	児童養護施設	4,000,000円
	隣保事業施設	4,000,000円
	特別養護老人ホーム	290,000円
	障害者施設	8,760,000円
	障害者地域作業所・地域活動支援センター	3,910,000円
	障害者グループホーム	1,190,000円
	在宅福祉サービス団体	900,000円
	横須賀市社会福祉協議会	23,309,733円

年末たすけあい募金分(30,576,267円)

40%

市内の	障害者地域作業所・地域活動支援センター	1,395,000円
	在宅障害者地域訓練会	670,000円
	障害者関係団体	500,000円
	児童施設・団体	205,500円
	高齢者団体	55,000円
	18地区社会福祉協議会	27,380,267円
	年末配食サービス事業	370,500円
	(18地区社会福祉協議会)	

お変わりありませんか？『ふれあいお弁当』です

「ふれあいお弁当」は、ひとり暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯で、食事づくりができない方々に夕食をお届けするサービスです。お弁当は、市内10カ所の高齢者福祉施設等で、味付け、カロリー、塩分等に配慮して調理され、民生委員、社会福祉推進委員、地域のボランティアの方々の手で一つひとつ自宅までお届けしています。食事の確保だけでなく、お変わりなく過ごされているかの安否確認、地域の方々とのおふれあひも「ふれあいお弁当」の大きな魅力です。



彩りも良く、季節感が感じられるお弁当。
毎回楽しみにしています！

お弁当を届けたところ、
家で倒れているのを発見。
救急車を呼び、大事に至りませんでした。

一人で家にいると、気がめいってしまいます。
お弁当が届くようになってお話しする機会が
出来、元気になりました。



<利用できる方>

65歳以上のひとり暮らしの方
65歳以上の高齢者のみの世帯の方

<配食日>

週4回(夕食のみ)※土、日、祝日を除く
お住まいの地域により配食日が異なります

<料金>

1食あたり500円

<申込方法>

地域の担当民生委員を通じて、
横須賀市高齢福祉課へ

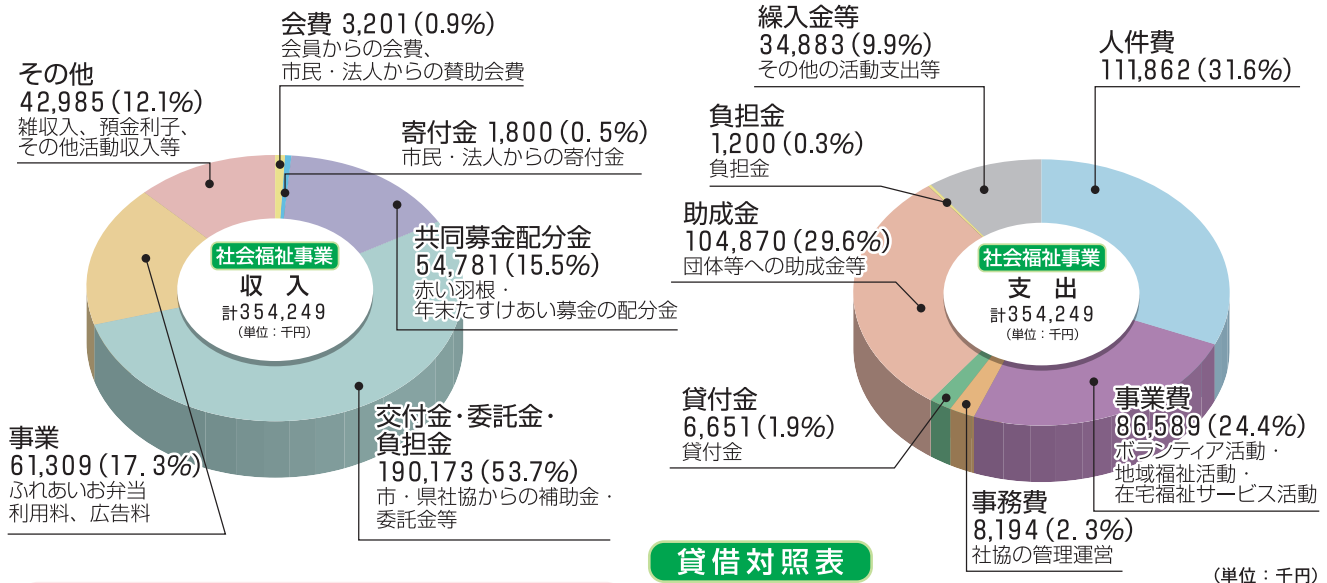
お問い合わせ先

横須賀市社会福祉協議会

地域福祉課 …………… TEL (821) 1301

横須賀市高齢福祉課 …… TEL (822) 8255

■ 平成26年度 横須賀市社会福祉協議会の決算状況 ■



**市社協事業に対する皆様のご支援、
ご協力ありがとうございました。**

貸借対照表		社協の管理運営	
		(単位：千円)	
《資産の部》 395,125		《負債の部》 137,960	
		《純資産の部》 257,165	
合 計 395,125		合 計 395,125	

賛助会員のご紹介

贊助で参上!
社協活動応援団



☆加入方法☆

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。かながわ信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙を送付させていただきます。
(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)

★個人会員 一口 1000円

★団体会員 一口 5000円

* 会費は年度会費（4月～3月）となっており口数は何口でも結構です。

〒238-0041 本町2-1 総合福祉会館2階

横須賀市社会福祉協議会 総務課

TEL (821) 1301

FAX (827) 0264

E-mail shakyo@wg7.so-net.ne.jp

★個人(207人)
平成27年3月1日～5月31日(順不同・敬称略)

小林勇次郎、沼直美、西脇由利子、広江久美子、佐々木清子、高橋明美、岩崎佳子、長谷川章子、八田志延、會田麻美、馬場直美、吉田美奈、石垣亜矢子、萩原智江、松本珠江、高山里美、千葉由香子、清野亜美、村田佳央里、市川泉、西村廣美、三橋康子、田中よしと、柳井芳明、富田惠美子、阿部聖子、阿部輝雄、村田栄一、住本武人、伏見美幸、三吉康子、山口好子、江青柳芳子、小笠原和美、阿部美惠子、石崎光子、飯塚俊子、山崎利恵、御所脇芳子、中野範子、山本千春、寺内政祐、高橋範明、菊池敏元、鈴木忠明、荻野則夫、荒井信子、穂本春江、東海林綾子、佐藤隆司、藤田伸子、三田美代子、渡辺奈奈、西野秀治、小岩紀子、田中文子、青柳芳子、池谷頼子、齋藤千子、望月さつき、長谷川由紀和、松野和夫、仁井真紀子、田中明子、山田照子、内田隆司、星野佳佳子、高橋浩行、東宇明、高橋匠、流田隆幸、内山博之、岩藤由美、柳川裕美子、市川美千代、長谷川周子、川上八重子、古尾谷まり子、小林範子、筒井悟、石渡千恵子、遠藤直子、森谷恵美、外川よし子、小室好美、国松敬子、今井みゆき、加藤幸子、四戸正子、高部雄一、大古恵美、荒木まり子、藤村志忠、中野佐和子、工藤直美、内藤節子、佐野眞子、木脇稲一、阿部朋一、藤井真理子、古川勝弘、野添祐子、工藤洋平、土屋悠樹、春日智恵、目黒純一、倉方弘子、成田智子、古谷勝子、田澤智恵、田中美松田佳子、小原由佳里、橘田正江、伊澤なつみ、宮川澄子、松井典子、佐藤智子、望月貴充、永井大輔、田辺恭一、中川香織里、神戸浩一、寛座美和子、福島みちよ、岡崎富子、大橋金重、木村久夫、高田静男、宮川美千代、中村典史、加藤眞理美、山村理恵子、尾形潔、永妻和子、鈴木立也、稲葉紗子、稲葉優子、鈴木孝芳、加藤眞理子、鈴木孝太郎、鈴木響子、鈴木芳子、澤野邦男、澤野敏子、小川時代、鈴木健一、松尾澄江、松尾亮平、松尾芽生、松尾小太郎、小林幸男、小林由恵、八文字照子、平野友康、平野由紀、平野裕大、平野夏帆、市川高広、市川直美、市川麻衣、市川茂子、毛受稔、木村涼織、林啓之、林眞理、林七菜子、林眞啓、須山佳行、須山亜耶、須山利緒、三小田博文、三小田道子、鈴木薫、鈴木昌子、島崎みずほ、宮本隆和、宮本和子、亀崎理恵、齊藤広将、原純子、逸見奈々子、山野さおり、吉田英男、吉田恵利子、中條雅則、小関聡子、音田勝藏、横川和、長養成江、海野千秋、若田恭宗、若田勝江、鈴木タケノ、明珍スイ、加藤武一、加藤晴代、関本貴子、坂本久恵、伊藤博枝、山内雪枝、笹岡純子、藤原尉夫、片山綾子、嘉山征勝、清水君子、匿名

★**団体(8団体)**
太田和保育園、社会福祉法人心の会、ソーイングサポート衣笠、夢工房、衣笠保育園、特定非営利活動法人サポートフレンドーズ、太陽の家、太陽の家二番館

あなたの街の電気屋さん



 **ファミリー電気商会**

電気の事なら何でもおまかせください。お近くの店舗へ気軽にご連絡ください!

本部

森崎1-10-4

046-874-7194

大津店

大津町3-18-12

046-834-3575

野比店

野比1-39-4

046-849-1191

平坂店

上町1-54

046-823-2280

かもいファミリー電気

(グループ店)
鶴見3丁目26-1

046-843-2186

視覚障害者誘導 ボランティア養成講習会

日 時: 7月26日(日) 9時30分～12時30分
場 所: 総合福祉会館4階 第2活動室
内 容: 視覚障害のある方への接し方・ガイドについて、実技講習を行います。
参加費: 無 料
その他: 7月20日(月)までにお申し込みください。
 筆記用具持参、当日は動きやすい服装で参加してください。
申込み・問合せ:
 横須賀市視覚障害者サポート協会
 丸山 090-1452-7069



7月31日をもち イベント機材貸出の終了

よこすかボランティアセンターでは、イベント機材の無料貸出を行って参りましたが、機材の老朽化による故障が多くなり、市民の皆様への貸出に支障が出ていることから、次の表にあるイベント機材の貸出を今年の7月31日で終了することとなりました。

貸出終了する イベント機材	わた菓子機
	ポップコーン機
	かき氷機
	ヨーヨー釣りの舟

今後も、車いすの貸出(貸出期間1ヶ月限度)は継続いたします。

「元気」と「優しさ」がある者、いざ来たれ! 第38回ふれあいキャンプ ボランティア大募集!!

鴨居コミュニティセンターで「あい」、子どもたちとふれあい、
ボランティアの仲間とたすけあい、
この3つの「あい」でキャンプを盛り上げよう!!

「元気」と「子どもたちと優しく接してくれる気持ち」のある15歳(高校1年生)以上の皆さん、この指止〜まれ!!「ふれあいキャンプ」で暑い夏を一緒に吹き飛ばそう!!

内 容: 主に知的な障害のある小学校3年生から高校3年生の子どもたちと泊まりで楽しく過ごします。
と き: 8月8日(土)～9日(日) [1泊2日]
と ころ: 鴨居コミュニティセンター
 (所在地: 鴨居3-11-12)
主 催: 横須賀市社会福祉協議会
企 画: 第38回ふれあいキャンプ実行委員会

申込み: 電話・FAX・E-mailのいずれかで、よこすかボランティアセンターへ。(FAX・E-mailの場合は、①氏名(フリガナ)、②性別、③年齢、④住所、⑤電話番号、⑥参加回数を記入してください)

その他: 事前説明会がありますので、必ずご参加ください。
日 時: 7月25日(土) 12時30分～16時
場 所: 市立総合福祉会館(本町2-1)



【ふれあいキャンプ体験日誌から】

- ☞ とても良い体験になりました。これからボランティア活動をする時には、今回学んだことを活かしていきたいです。(高校生)
- ☞ 子どもたちの活動する一生懸命な姿や嬉しかった時の笑顔を見て大きなパワーをもらえました。(大学生)
- ☞ 多くの方々の協力で成り立っているキャンプに参加できたことが貴重な経験になりました。(高校生)
- ☞ 高校生や大学生の圧倒的なパワーを感じました。普段の仕事とは違う大切なことを見つけることができました。(社会人)



AD.MIND Co., Ltd.
Design Production Company

最良の結果を導き出す良きパートナーでありたい。

当社は、ワンストップ・トータルデザインサービス企業として設立いたしました。お客様のニーズに最大限お応えするためにお客様との厚みのあるコミュニケーションを最重要と考え、プロセスひとつひとつに“想い=マインド”を込めています。

企画 デザイン(Graphic・Web) 撮影
 eBook 3DCG Movie 印刷

〒239-0807 横須賀市根岸町3-14-25 グレイス5/F
 TEL.046-838-0555(代) FAX.046-834-3331

株式会社 アド・マインド

E-mail: contact@admind.jp URL: http://admind.jp

ボランティアセンターを彩る四季
／「むしとり」
*登録ボランティア
・布おもちゃグループポケット製作



よこすかボランティアセンター

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階
開 所 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分(土・日曜日と祝日は休み)
電 話 (821) 1303 (825) 0017 / FAX (824) 8110
E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>
※ボランティア等の申込み・問合せ先を明記していないものは、
よこすかボランティアセンターが窓口です。

夏のボランティア体験2015 Natubora ナツボラ

たくさんの応募をお待ちしています!!

期 間: 8月3日(月)～8月7日(金)
対 象: 市内在住・在学の小学生以上 *小学3年生以下は必ず保護者同伴
参 加 費: 無 料
受付開始: 7月13日(月)から
申込方法: 窓口もしくは電話にて受付(先着順)
定 員: 各20人
集 合 場 所: 総合福祉会館4階 ボランティアセンター活動室
*よこすかボランティアセンター窓口等にてプログラムを配布しています。



☆ プログラム ☆

◇8/3(月) 10:00～12:00 子育てサロンのボランティア活動にチャレンジ!

…サロンってどんなことをしてるの?絵本の読み聞かせ・工作・わらべ歌・親子体操など、ワークショップ形式で体験!

◇8/4(火) 10:00～12:00 おもちゃの修理ドクターになってみよう

…大好きだったのに壊れてしまったおもちゃ、自分で修理してみませんか?『おもちゃの病院』ドクターがちびっこドクター達をバックアップ。大人の参加もOK!
(*おもちゃ持参での参加となります。)

◇8/5(水) 10:00～12:00 ボラセンクリーン隊 出動

…汐入の街をみんなできれいにしよう!清掃の後は、ボランティアについて楽しく学びます。年齢に関係なく気軽にできるボランティアです。ご家族でも、おひとりでも!!

◇8/6(木) 10:00～12:00 お話の世界を楽しみませんか?

…『朗読』のコツや、滑舌を良くする訓練を体験します。『朗読』はお子さんだけでなく高齢の方にも喜ばれます。実際に、本町デイサービスで『朗読』を体験。

◇8/7(金) 10:00～12:00 車いすから見える街ってどんなだろう?

…車いすに実際に乗って、街がどんな風に見えるのか?どんな事が困るのか?実際に体験してみよう。また、操作方法等も一緒に学びます。

市民活動サポートセンター、生涯学習センターとボランティアセンターが
タッグを組んで皆様のボランティア体験を応援します!

7月11日(土)から8月31日(月)まで『夏の市民活動・ボランティア体験2015』が開催されます。

災害時ボランティアセンター 設置運営訓練

日 時: 9月5日(土) 10時～12時
場 所: 総合福祉会館 5階ホール
内 容: 災害時に設置されるボランティアセンターの
シミュレーション訓練
定 員: 200人程度 参 加 費: 無料
申 込 み: 前日までに、氏名(あれば所属・団体)、
連絡先をよこすかボランティアセンタ
ーへお知らせください。当日受付でも
ご参加いただけます。
※ご連絡は、電話、FAX、E-mailのいずれでも結
構です。



布おもちゃ親子サロン “ポケット”ひろばのお知らせ

開催日
7月10日(金) 10時～12時
8月はお休みです。
9月11日(金) 10時～12時



羽ばたく翼、ともに築く未来

かながわ信用金庫

年金のお受け取りは「かながわ信用金庫」へ

平成27年度 第12回ヒューマンサービス公開講座

【保健・医療・福祉の最前線】

【日時・内容】

回数	日程	講師	テーマ
第1回	9月27日(日)	看護学科 水戸 優子 教授	介護・看護者の 腰痛予防最前線
		栄養学科 倉貫 早智 准教授	新たに注目される機能性食品と AMF栄養ケアステーションの取り組み
第2回	10月3日(土)	人間総合・専門基礎担当 津田 学 准教授	ショウジョウバエは 電気羊の夢を見るか?
		リハビリテーション学科 長澤 弘 教授	脳卒中片麻痺の回復を 脳科学から考える
第3回	10月17日(土)	社会福祉学科 新保 幸男 教授	「子どもの貧困対策」の最前線 ～共に走りながら考えていること～
		名誉学長 阿部 志郎 氏	横須賀の近代歴史に学ぶ

時間は各回13時30分～17時

(受付は13時から。各講座60分程度、講座終了後10分間質疑応答の時間を設けます。)

【場所】県立保健福祉大学 講堂 【定員】200人 【受講料】無料

【申込期間】9月15日(火)まで

(締め切り後も定員に満たない場合は随時受け付けます。)

【申込方法】「公開講座受講希望」と明記し、①氏名 ②住所(市町村名まで)

③電話番号・FAX番号 ④希望する回と本人を含めた同行者数、
をお知らせ下さい。電話、FAX、はがき、大学フォームメール
(URL: <http://www.kuhs.ac.jp/>) 大学窓口でもお申込みいただけます。

【その他】・車での来学はご遠慮下さい。

・身体上の事情により車での来学を希望される方、手話通訳・
点字資料を希望の方、一時保育を希望される方は、申込みの
際にお知らせ下さい。
・今から受講票はお送りしません。連絡をいただいた段階で
回答します。

【申込み先・問合せ】 県立保健福祉大学 企画課
〒238-8522 横須賀市平成町1-10-1
TEL(828)2530 FAX(828)2501



お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも総合福祉会館2階です。相談日が祝日に当たる時は
お休みとさせていただきます。12時～13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、お年寄りや障
害のある方の世帯を対象に、安
定した生活を送ることができよう
資金貸付の相談を行っています。
【資金について】

- ①お困りの内容によって資金の
種類が異なります(一般生活
費の貸付けはありません)。
- ②資金の種類によって民生委員
による相談援助が行われます。
- ③原則として連帯保証人が必要
です(市内在住の方)。

【予約制】窓口の相談は混雑し
ていますので、お越しいただく
前に必ず電話でご連絡ください。

●毎週月～金曜日

9時～11時30分・13時～16時
予約はTEL(821)1301
地域福祉課 生活福祉資金担当

介護相談

福祉機器や介護について介護
福祉士がお答えします。

●毎週月～金曜日

10時～16時 福祉機器展示場
電話相談TEL(824)9436

住宅改造相談

ちよとした工夫や改造をす
ることで、暮らしやすい家にす
ることが出来ます。

障害者や高齢者のより住みや
すい環境をつくるために、神奈
川県建築士事務所協会の建築士
が相談に応じます。

【予約制】

●毎月第4水曜日

10時～15時 市社協相談室
予約はTEL(823)0386
神奈川県建築士事務所協会
横須賀支部へ
受付時間10時30分～17時

ありがとう

社会福祉のために、温かい寄
付がありました。(敬称略)

平成27年3月1日～5月31日

船橋珠枝、シャロームふれあ
いバザー、鶴根岸工務店、佐藤
昌久、嘉山征勝、大津二丁目老
人生きがいの家、横須賀市資源
回収協同組合、NPO法人車椅子
子レクダンス普及会横須賀支
部、横須賀マジッククラブ、鈴
木タケノ、横須賀落語愛好会、
新都山流神奈川県支部、かなが
わ信用金庫
川島芳子、本町デイサービス
センター、石立なおみ、手話タ

ンズグループ「ゆらぎ」、徳嶺啓
子、中山静子、大楠地区ボラン
ティアセンター、手話サークル
逸見、山崎峰崇、コールアルカ
ディア、木村涼織、武谷広子、梅
田達子、ハンドニットの会、豊
之坪町内会・こども会、宅間清、
伊藤亜子、小島トシ江、三春町
地区ボランティアセンター、ア
ミーゴス、みどりクラブ、清美
会、シルバー人材センター、柴
山孝之、大津地区ボランティア
センター
寄付金 11件 六四五、八三八円
物品 33件

あとがき

高校時代の友人が出版記念
パーティを開催するので出席し
てくれと連絡が来た。

この年齢に及んで、自分の人
生観でも書いて本にしたのかと
聞くと、推理小説を書いたと述
べたので、今から作家にでもな
るのかと笑ったが、彼にはそれ
なりの訳があった。

彼は五年ほど前に余命二百五
十日と言われた大病をして、大
変な覚悟で闘病生活をするこ
になるが、幸いなことに一命を
取りとめることができた。その
後、不運なことが続くもので、

今度は脊髄圧迫骨折で、介護度
五を宣告され、もうこれまでと
思ったが、不完全ながら回復の
兆しがみえたので、かねてから
の思いを実現することに努力を
したと、今までの経過を述べる。
不運な病気をしたが、これか
らは気力で自分のやりたいこと
をやりとげようと思ったのが、
元気になった源ではないか。高
齢者になると何事にも消極的
になり、気力もなくなり病に屈し
ていくが、彼は希望と目的に邁
進していくことにより、病を克
服したような気がする。

これからも元気で生活をして、
作家活動で頑張ることを望む。

(一)